

はじめに

阪神・淡路大震災以降、各地で大規模な自然災害が多発しており、学校が避難所としての役割を担う場合も多くなっています。その際、教職員は学校再開と子どもたちへの心のケアに取り組むとともに、場合によっては、避難者への対応も求められることとなります。

こうしたことから、兵庫県教育委員会では、震災の教訓を生かし、県内及び他府県等において震災等があれば、要請に基づき、避難所となった学校の教育復興を支援するために、全国初の組織として震災・学校支援チーム（EARTH）を設置しました。

平成12年の発足以降、これまでに、北海道有珠山噴火をはじめとして、新潟県中越地震、スマトラ島沖地震に伴うインド洋大津波など、自然災害に見舞われた被災地の学校の児童生徒や教職員への支援活動を行うとともに、防災教育に関する講演等を通して震災を語り継ぐなど、県内外の防災教育の推進に貢献してきました。

このたび、県教育委員会では文部科学省の「地域が抱える教育課題に対応した指導者養成推進事業」の委嘱を受け、EARTH 実践活動スキルアップ調査研究会を設置し、阪神・淡路大震災の経験や教訓、これまでのEARTHの活動の中で蓄積されたノウハウを体系化し、「EARTHハンドブック」を作成しました。

今後は、EARTHの皆さんがこのハンドブックを十分活用し、災害派遣時には被災地での支援活動を行うとともに、平時においても地域における防災訓練への参加や県内外の研修会における指導・助言等をとおして、各地域の防災体制の整備充実、兵庫の防災教育推進の中核として活躍されることを期待しています。

平成18年3月

震災・学校支援チーム（EARTH）運営委員会